『分掌自己評価』アンケート項目

令和4年度 矢上高等学校 学校運営協議会 学校評価

【評定段階】

A(4点) : 目標が達成された	o r 良い
B(3点) : 目標がある程度達成された	o r だいたい良い
C(2点) : 目標があまり達成されていない	o r 少し改善すべきだ
D(1点) : 目標が達成されていない	o r 改善すべきだ
E	: 関係していないのでわからない

	A 目標が達成された	B 少し改善すべきだ	C 改善すべきだ	運営協議会委員評価				
				R4	R3	R2		
学校運営 1	1. 生徒の思いを受け止めつつ、生徒に考えさせきめ細かい指導、粘り強い指導を行う。	3.2	3.2	3.2	新設	先生方は丁寧に対応している。今年度はSCの時間も増やしてもらった。	授業の準備や生徒面談ができるような対策を考えたい。	B
学校運営 2	2. 前例踏襲に陥らず、変化を恐れず、目的と成果目標を意識して取り組む。	3.2	3.2	3.2	新設	各分掌で新しい取り組みがみられた。行事も工夫をして実施していただいたと思う。	引き続きプチ改革でもいので取り組みをお願いしたい。	
学校運営 3	3. 部課長・主任のリーダーシップと責任のもと、分業・協業体制を構築して取り組む。	3.4	3.4	3.4	新設	部長・主任にはリーダーシップを発揮してチームワークも良くやっていた。ICT活用など新しいことが始まり多忙の解消はできなかった。	ミドルリーダーにはさらなる活躍を期待しています。管理職はサポートしていきます。	
学校運営 4	4. 多忙の解消と仕事と生活の充実につながる「働き方改革」を推進する。	2.4	3.4	3.3	3.1	近隣中学校に個別訪問(年2回)。県外生にはオンライン説明や個別訪問で対応。今後も3クラス維持のための定員確保に努める。	月・木の職員朝礼、部活動や寄宿舎関係ではさらに改善したい。年休の有効利用をお願いします。	
魅力化 1	1. 新学習指導要領に則した教育内容の充実を図るとともに、地域や大学と連携して探究学習の深化と授業力の向上に取り組む。	3.1	3.1	3.3	3.3	「地域協育パートナー制」により地域連携が進んだ。「魅力化ミニ研修」を実施して情報提供に努めた。県内大学との連携を進めたい。	「総合的な探究の時間」の校内体制・カリキュラム内容の見直しや、県内大学と連携する仕組みを検討。授業に関する研修等も実施したい。	A
魅力化 2	2. 矢上高校と未来をつくる会(コンソーシアム)の運営を安定させ、第2期矢上高校将来ビジョン、矢上高校ランドデザインに基づいた学校の魅力化・特色化をさらに進める。	3.2	3.4	2.7	3.4	町と連携して「魅力化ビジョン」に向けた活動ができるよう努めた。年度当初に、ランドデザインの理念を職員間で共有する時間が必要。	令和3年度で終了した文科省事業の成果を生かし、取組を継続させる。学校とコンソーシアムの役割を明確にし、協働を進めたい。	
魅力化 3	3. 安定した入学確保をめざす。	3.4	3.3	3.1	3.1	近隣中学校に個別訪問(年2回)。県外生にはオンライン説明や個別訪問で対応。今後も3クラス維持のための定員確保に努める。	令和5年度、町内中3生増加への対応(要書提出予定)。県外受験希望者に「個別訪問対応日」を設定し、適切な情報提供に努める。	
総務 1	1. 各分掌、学年会、各種委員会、矢上高校魅力化センター等との連絡調整に努め、学校行事の円滑な運営と学校の活性化を図る。	3.3	3.4	3.3	3.3	全教職員の理解と協力を得て、コロナ禍の中ではあるが生徒ファーストで行事の運営ができた。3ヵ月ごとの行事予定表を作成し、運営委員会や職員会議などを通じて行事を調整することができた。	継続して調整を図っていきたい。	A
総務 2	2. 学校からの魅力的な情報発信に努める。(こまめな発信、情報のチェック体制含む)	3.6	3.9	3.6	3.6	学校行事等のHPへの即日アップや毎月発行の「矢上だより」を通じて、タイムリーに学校の様子を発信することができ、保護者からも高い評価を得た。	継続・安定した情報発信ができるよう体制を検討する。	
総務 3	3. 居場所としての図書館づくり。(情報発信、授業活用含む)	3.4	3.4	3.2	3.2	図書館だよりを生徒ポータルにアップして過去の紹介分も含めて書籍についての情報発信を充実させることができた。国語科のディベート授業など授業での図書館の活用があったが、教科によって温度差がある。3年生を中心に生徒の来館も少しずつ増えてきている。	授業での活用の様子を共有することができるように情報発信する。 ・1, 2年生の来館を増やす工夫を考える	
総務 4	4. 働き方改革を進める。	2.9	3.4	3.2	3.2	会議資料を電子化するなどICTを活用した業務の効率化・ペーパーレス化を進め、定着させることができた。多忙の解消や教育活動の充実化を図るための行事・業務の精選を進めることができなかった。	学校全体として行事や業務の精選・調整ができるよう管理職と協力して進める。	
教務 1	1. 生徒が主体的に取り組める授業の実践。	3.2	3.0	3.2	3.2	一人一々端末が導入され教員の意識が高まったと考えられる。	公開授業の促進、他校訪問等	A
教務 2	2. 新教育課程の円滑な実施。(シラバスの運用と構築、評価指標の作成と工夫)	3.3	3.2	3.3	3.3	1年生のシラバスは完成できている。評価について教科主任会で議論できた。郷田先生の実践例が良かった。AC混在の評価、主体的に学習に取り組む態度の評価概ね良かった。	評価については、引き続き教科会を中心に検討していく。シラバスについては単元ごとの評価基準を完成させる。ルーブリックの利用	
教務 3	3. 魅力ある学校づくり(オープンスクールの充実と生徒募集計画の立案)	3.4	3.4	3.2	3.2	課題としては日程と部活動体験、負担感	産業祭とは別日程で実施する。振替休日について検討する。	
生徒指導 1	1. ルール・マナーを守った基本的習慣を確立する。	3.2	3.1	3.1	3.1	成果は問題行動に対してチームで丁寧な対応ができたこと。課題は問題行動を起こさないような積極的な生徒指導を展開すること。	善行賞の運営をスムーズにいくことで、良い行動を促し、より良い学校を構築していく。	B
生徒指導 2	2. 自他を尊重し、他者と協働して明るく元気な学校づくりをする。	2.9	3.2	3.3	3.3	成果は人権教育の実施により人権意識の醸成を目指して取り組むことができたこと。課題はコロナ対応により他者と協働する場面の減少したこと。	人権教育の継続。生徒会行事による協働する場面の企画、運営。	
生徒指導 3	3. 目標に向かって主体的かつ誠実に行動する。	3.4	3.4	3.2	3.2	成果はコロナ対応の緩和により学園祭等の行事も生徒が主体的に運営、行動できる場面が増えたこと。また、制服、ほう賞などについても生徒が参画し検討できていること。このことにより活発な生徒会になりつつあることが成果である。課題はコロナ対応により、十分な時間がとれていないこと。	制服、ほう賞など、生徒会が参画していることを継続し発展させていけるようにすること。	
進路指導 1	1. 三年間を見通した計画的な指導を行い、進路目標を主体的に設定出来るように支援する。	3.2	3.2	3.2	3.2	各学年で必要な講演会を実施した。学年部にはできるだけ早い段階で相談し、効果があるよう理解・協力を要請すれば良かったと思える。	全統模試などで1年生から志望校について考えさせる機会を持たせる。	A
進路指導 2	2. 一人ひとりの希望に即したきめ細かい指導、粘り強い指導を行い、進路目標を実現出来るように支援する。	3.5	3.3	3.3	3.3	多くの先生方に大変お世話になり、高い合格率を得ることができた。ただ、年度ごとに推薦希望者が増加傾向にあるので、先生方の負担をどのように減らすかが課題です。	上位者の添削などの対策を早めに学年部と連携して実施していく。	
進路指導 3	3. 生徒が学ぶことと将来のつながりを見通しながら社会的・職業的自覚ができるよう支援する。	3.2	3.2	3.2	3.2	生徒指導部と社会性の育成について連携していくことが必要。職業観については、学部学科説明会→大学説明会(一職業説明会:魅力化主催)という流れができていたので効果的になるよう生徒への働きかけが必要と感じます。	現在は外部業者に委託しているため本来こちらが意図していることが伝わっていない部分がある可能性があるので、事前の打ち合わせを入念に行う。	
保健 1	1. 生徒の心身の健康状態を把握し、かつ適切迅速な対応をする。生徒自身も健康管理が出来るように支援する。	3.5	3.3	3.4	3.4	日々の健康観察、保健室入室者への対応、講演会等とおし、健康状態の把握や自身で健康管理ができるよう支援できた。	オンライン健康観察入力を徹底。	A
保健 2	2. 快適で安全な教育環境の実現に努める。	3.5	3.3	3.1	3.1	感染予防に必要な備品や消耗品については、事務室のご尽力もあり充実させることができた。	今ある備品の管理する。	
保健 3	3. 特別な支援を必要とする生徒へのサポートを行う。	3.5	3.5	3.5	3.5	外部の先生方も連携が進み、生徒の変容もみられた。今後は校内の先生方へ情報提供の機会を増やしたい。	校内の先生方へ支援の流れや方法などの情報提供をおこなう。	
舎務 1	1. 生活の規律化による学習の充実。	3.1	3.0	3.2	3.2	基本的な生活のルールを守りながら学習時間にきちんと学習に取り組むことが出来るようになった生徒と時間が守れない生徒や学習時間に机に向かえない生徒と寮の中で差が出てしまった。ただ、掃除に関してはブロック長を中心にきちんと取り組める生徒が増えているように感じた。	学習時間に机に座って学習に取り組むことと点呼に遅れずに来ることの指導を徹底して行いたい。	A
舎務 2	2. 新型コロナウイルス感染症の予防対策を徹底して行い、寄宿舎生の健康の保持を図る。	3.4	3.5	3.6	3.6	マスクの徹底や手洗いや手指消毒の徹底が習慣化しつつあって、集団感染が発生することを押さえることができた。(女子が5月に1回、男子が7月に1回だけだった)	新型コロナウイルス感染症が来年度の5月から5類に変更になるが、集団感染をおかないよう引き続き、感染症対策を徹底して行いたい。	
舎務 3	3. コロナ禍でも工夫しながら寄宿舎行事の充実を図る。	3.4	3.3	3.3	3.3	生徒たちが楽しめるような企画がクリスマス会ぐらいしかできなかった。学期に1回程度の企画ができれば良かった。	学期に1回の食事を開催したい。その他にも寄宿舎生の交流が図れることや地域の方との交流もしていきたい。	
産技 1	1. 専門学習の深化を図ることで資格取得の推進を図る。	3.3	3.4	3.2	3.2	農業技術検定を1年次のみ必須とした。2年生3年生は必要に応じて受験をしたが、合格に至らなかった。	1人1資格を最低目標に取り組んでいきたい。	A
産技 2	2. 課題研究を充実させることで、各コースにおける特色ある教育活動を実践する。	3.4	3.4	3.4	3.4	おおむね昨年度同様の取り組みができた。	町の取り組みが変化してきている。地域の課題を考えながら実施していきたい。	
産技 3	3. 関係機関や地域との連携による教育活動を実践する。	3.7	3.6	3.4	3.4	全共や林業教育など関係機関と協力して新しいことも実施できた。	今後も地域と協力しながら実施していきたい。	
1年1	1. 基本的な生活習慣を育成する。	3.1	3.0	3.4	3.4	積極的に諸活動に参加する生徒が多いが、欠席者も多く、挨拶などがきちんとできない生徒もいる。	日々の学校生活等、当たり前のことがきちんとできるように、日々指導していく。	B
1年2	2. 人権尊重と相互理解の態度を育成する。	3.2	3.0	3.2	3.2	LHRや面談等を通じて、自己を肯定し、相手を思いやる気持ちを持つことができてきている生徒が多い。	今後も継続して面談や声かけを行い、LHR等を通じて人権意識を高める指導を行う。	
1年3	3. 基礎学力の定着と自立的な学習態度を育成する。	2.7	2.9	3.3	3.3	学習態度はおおむね良好だが、理解するまで考え抜く生徒とそうでない生徒の2極化が見られる。	授業や補習等を通して、理解するまで考えることの大切さや家庭学習習慣の取り組み方について引き続き指導していく。	
1年4	4. 進路目標の確立を支援する。	3.2	3.3	3.3	3.3	1学期当初、LHRで進路学習を十分に行えなかったが、2学期以降は徐々に意識が高まっていった。	年度当初からLHRで進路学習を計画的に取り入れていく。	
1年5	5. 地域・社会で生きる上での探究的思考力・行動力の基盤を育成する。	3.1	3.1	3.1	3.1	地域・社会に対する意識はある程度高められたが、自分と地域を結びつける意識や行動に結びつけることに課題が残った。	地域探究も大切だが、1年生では自己を探究することから始めることが重要との考えもある。今後も魅力化等と連携し、企画・実践につなげる。	
2年1	1. 基本的な生活習慣を確立する。	3.0	3.2	3.3	3.3	不十分な点はあるが、少しずつ成長はみられ定着してきている生徒もいる。提出物を期限内に出せない生徒もいる。	自己管理を推し進め、基本的な生活習慣の定着をめざす。	B
2年2	2. 人権尊重の精神と態度を定着させる。	3.0	3.3	3.1	3.1	普通科の授業のみならず、部活動、探究活動等様々な活動を通して、自他を認め、協力して進めることができた。しかし、相手の気持ちやその場の状況を考慮できない行動もみられた。	相手を尊重し、互いに支援し合えるように取り組みさせる。	
2年3	3. 自主的な学習態度の定着させる。	3.0	3.2	3.3	3.3	概ね授業に取り組む姿勢は良好だが課題の取組状況には差がある。	授業に集中して取り組ませると、共に主体的に課題に取り組ませる。	
2年4	4. 進路目標の具体化させる。	3.1	3.4	3.3	3.3	進路調査、模試、進路学習等の機会を通して、進路について考えさせたり調べさせたりしながら、担任や保護者と相談し、具体的に定めつつある。	進路目標を具体的に考えさせ、進路実現をするために、早めに行動を起こさせる。	
2年5	5. 地域・社会に幅広く目を向ける力を育成する。	3.3	3.3	3.3	3.3	探究学習を通じて、地域やその分野の専門家の方との交流の機会を持つことができた。また行事等で地域へ出かける機会もあり、理解を深めることが出来た。	様々な活動を通じて、探究活動を深める。	
3年1	1. 基本的な生活習慣の定着させる。	3.2	3.4	3.3	3.3	挨拶などもよく、落ち着いた学年だったと感じます。	1年次から、特に挨拶の習慣を身に付けさせることが重要と考えます。	A
3年2	2. 人権尊重の精神と態度の定着させる。	3.2	3.2	3.2	3.2	大きな問題が生じた中で、人権について生徒一人一人が向き合う時間をとれた。先生方のご協力に感謝しています。	LHRだけでなく、部活動単位でも定期的な人権教育の場を設定できればと思います。	
3年3	3. 自主的な学習態度を確立する。	3.0	3.2	3.3	3.3	主体的に取り組む生徒もいた中、指導に従わず自己中心的な行動をとる生徒も見られた。	早期に進路目標を設定させ、時期において取り組むべき内容を把握させていきたい。	
3年4	4. 進路目標の実現させる。	3.2	3.4	3.4	3.4	先生方の手厚いご指導のおかげで、大部分の生徒が目標を達成することができました。ありがとうございます。	引き続き先生方のご協力をお願い致します。	
3年5	5. 地域や社会に幅広く目を向ける力を育成する。	3.3	3.3	3.3	3.3	卒業生の講演や、様々な分野において地域の方々のご協力を頂きました。生徒も積極的に課題を発見できているように感じました。	地域主催のディスカッションなどに積極的に参加させていきたい。	
事務室 1	1. 連絡、相談を通じて全職員との情報交換を密にし、必要な情報の共有に努める。	3.7	3.6	3.5	3.5	朝礼の場やメールを通じて情報の共有ができていた。	引き続き「開かれた事務室」として情報交換しやすい環境を維持する。	A
事務室 2	2. 経費の節減を図り、効果的な予算執行により教育環境の整備に努める。	3.5	3.6	3.4	3.4	限られた予算の中で効率的な予算執行をする必要があるが、突発的な事態に対応しきれないことがあった。	予算執行状況を常に把握し、年間を通じて計画的に執行するよう努める。	
事務室 3	3. 効率的な運営に向けた業務の点検に努める。	3.5	3.5	3.4	3.4	日々の業務の中でより効率的な方法を考えながら少しずつでも改善することができた。	日々の気づきをそのままにせず、常に業務改善につながるよう意識する。	